

デジタル・データ活用等による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業について

1 目的・概要

世界情勢の変化や環境対策等、区内製造業や商店街では、多様な課題への対応が必要となっている。このため、令和3年度より、デジタル技術・データ活用、脱炭素をはじめとしたSDGs対応、それら新たな事業をけん引する副業人材との連携による稼ぐ力の強化を目的とした事業を推進する。

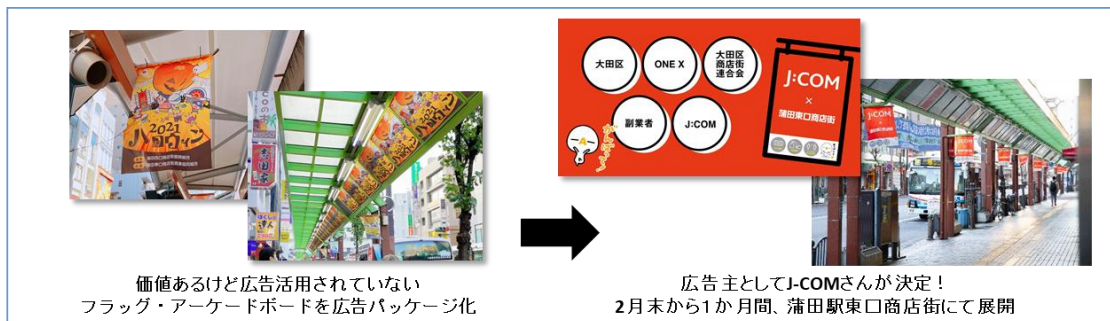
2 令和3年度の事業概要及び成果

(1) 副業人材とのネットワーク構築

大田区産業の魅力や本事業の意義についてプロモーションを実施することで、延べ450名の意欲的な副業人材から本事業にエントリーがあり、以下の事業に参画するとともに、持続的に交流を図るためのネットワークを構築した。

(2) 商店街プロジェクト

商店街の遊休資産の活用、データ活用、省エネ・フードロス対策等の現状把握を行い、特に遊休資産活用において、これまで活用できていなかったアーケード・フラッグを民間企業が活用できるよう広告パッケージ化し、企業広告を獲得した。



(3) 町工場プロジェクト

区内製造業の新規受注獲得に向けた検討、脱炭素への対応状況について、区内企業とのディスカッションや発注者である大手企業のヒアリング等を行い、特にこれまで各工場が製造受託の前段階において、無償提供していた職人ノウハウ等を新たにコンサルティングサービスとして提供するビジネスモデルを構築した。



3 今年度事業の概要

(1) 副業人材とのネットワーク構築

持続的に意欲的な人材が集まり、地域中小企業と連携する仕組みの構築を目指し、令和3年度同様、商店街・町工場プロジェクトにおいて副業者を活用するとともに、専門人材が不足する中小企業とのマッチングを行う。

(2) 商店街プロジェクト

令和3年度に成果を得たアーケード・フラッグ事業において、新たな広告案件の獲得及び他の商店街への横展開を進める。また、商店街のデータやデジタルツール等の活用により、集客拡大や効果的なイベント実施に繋げていく。

(3) 町工場プロジェクト

令和3年度に構築したコンサルティングサービスについて、より効果的なサービスを提供することを目的に、専門的な知見を獲得するための人材の育成を行うとともに、大手企業等と連携した実証事業を行う。

4 事業スキーム

事業を委託する（一社）ONE X と連携の上、事業を実施

